

会 議 録

会議の名称	令和7年度 大和郡山市移動等円滑化推進協議会	
開催日時	令和8年2月4日(水) 10:00~11:30	
開催場所	大和郡山市役所 交流棟 交流ホール	
事務局	大和郡山市 都市建設部 まちづくり戦略課	
出席者	委員	<p>【学識経験者】近畿大学 ※会長 兵庫県立大学 ※副会長</p> <p>【高齢者団体】高友クラブ連合会</p> <p>【障害者団体】社会福祉協議会 自立支援協議会（しごと支援部会） 自立支援協議会（こども支援部会） 自立支援協議会（居住支援部会）</p> <p>【地域コミュニティー】自治連合会</p> <p>【公共交通事業者】近畿日本鉄道 奈良交通</p> <p>【奈良県公安委員会】奈良県警察本部 郡山警察署</p> <p>【関係行政機関】国土交通省近畿運輸局奈良運輸支局 奈良県 県土マネジメント部 道路マネジメント課 奈良県 郡山土木事務所</p> <p>【市職員】福祉部 すこやか健康づくり部 産業振興部 教育部 都市建設部</p>
	事務局	まちづくり戦略課
欠席委員	西日本旅客鉄道株式会社 総務部	
議事	<p>1. 大和郡山市バリアフリー特定事業計画の策定について</p> <p>2. 意見交換、その他</p>	

議事

1. 大和郡山市バリアフリー特定事業計画の策定について

事務局からの説明（資料）

2. 意見交換、その他

（会長）

JRが欠席とのことで事務局に確認する。計画では、JR大和小泉駅と郡山駅に可動式ホー

ム柵（ホームドア）を設置いただけるとのことだが、本来は乗降客数10万人以上が設置目安という国の方針がある中で、比較的少ない乗客数でも設置いただける経緯などは聞いているか。

(事務局)

詳しい経緯は確認できていない。JRに確認して、後日回答する。（議事録に【追記】として回答掲載）

(会長)

ホームドアは視覚障害者の安全確保に非常に重要である。どのような駅にも設置いただけるのは大変ありがたい。近鉄さんは今後、新駅に関連して、ホームドア等の検討状況はどうか。

(近畿日本鉄道)

資料記載の通り、関係機関や行政と協議の上、整備する方向で計画している。

(郡山警察署)

資料4、整理番号21番の「城廻り線（しろまわりせん）」についてお聞きする。JR郡山駅から北方向に対して、歩道の点字ブロックなどの整備が書かれている。位置図では現在の歩道範囲で示されているが、今後、北郡山交差点までの改良工事が進んでいる箇所も点字ブロック等が展開されるのか。

(事務局)

位置図には新設される城廻り線の整備内容は反映できていない。新設道路であるため、点字ブロック等が連続するような歩道整備が計画されていると考える。

(副会長)

資料3の21ページ「郡山城跡公園」について確認する。以前から車いす利用者が登れるようになるのが課題かと思うが、今回の計画でアクセスは改善されるのか。

(事務局)

全域のバリアフリー化は、国史跡であるため工事が難しく、階段等もあり補助がないと通れない箇所が残る。そのため、介助を含めた対応として、年1回「バリアフリーデー」を設け、登城サポート事業として車いす利用者の方々を天守台まで補助しながら登っていただく機会を作っている。

(副会長)

全てをバリアフリー化するのは難しい。大和郡山市が計画する「心のバリアフリー」など、人のパワーとの連携で対応していくことも大事だと思う。

(会長)

事業者の皆様から、補足やご意見があればお願いしたい。

(奈良交通)

資料3の61ページ、公共交通事業についてはノンステップバスの車両導入がメインとなる。また、バリアフリー研修については記載できていない。これは、人手不足もあり大規模な集合研修が実施できないためである。しかし、管理・監督者から運転士への個別指導を行っている。また、新入社員に対しては、車いすの乗降に関する疑似体験研修を実施している。実際に車いすでのご利用も増えてきているため、実地での訓練を行っている状況である。

(近畿日本鉄道)

近鉄郡山駅の設計計画については、設計が始まったばかりである。これから進める中で問題等が出てくれば、またご相談させていただく。

(奈良県警察本部)

交通安全の特定事業に関して、JR・近鉄郡山駅周辺については、城廻り線の道路改良に合わせて安全対策を検討している。道路環境が変わるため、それに合わせて引き続き検討する。また、特定事業に関わらず、ご要望を受けた箇所については個別に対応を図る。

(都市建設部)

改善事項は多いが、計画通り着実に進捗させていきたいと考えている。

(郡山土木事務所)

城廻り線の事業では大変ご迷惑をおかけしている。少しでも早く解決できるよう頑張っている。

資料3の14ページ、番号4枚方大和郡山線の舗装のガタつきについては、来年度には完了できるよう進める。

また質問となるが、資料3の29ページ、1番「奈良郡山斑鳩線」について、事業No.2「視覚障害者誘導用ブロックの適宜更新」の実施範囲だが、これは現在のバス停までの点字ブロックを更新するという意味合いかと思う。その先の公民館や小学校まで点字ブロックを延伸しなくても良いのかと思ったがいかがか。

(事務局)

現状では、バス停まで設置されている点字ブロックの更新という意味合いで記載している。そこから先へ延伸する場合、生活関連施設となる目的地が必要になるが、分岐して公民館や小学校へ向かう道路は市道になる。市としての事業設定が現状できていないため、県の事業としては「現在の点字ブロックの更新」に留まっていると考える。もし市の事業として延伸する場合には、点字ブロックを接続していただくようなイメージを持っていたらと思う。

(会長)

バス停から生活関連施設（公民館等）への移動ニーズや利用実態を踏まえ、バス停間だけでなく、小学校や公民館までの点字ブロック敷設についても、今後の検討課題としていただきたい。

(県 道路マネジメント課)

県庁の方で、バリアフリー基本構想を含む予算の取りまとめをしている。大和郡山市は他市町村に比べても早い時期から計画を立てている。今回、新たに道路特定事業を設定することについて、県の予算（郡山土木実施分）については県として積極的に要求していきたいと考えている。また市町村事業についても、補助金等の相談に乗ればと思っている。

(近畿運輸局)

今年度、矢田小学校で「心のバリアフリー教室」を開催させていただくこととなり、感謝している。3年生・4年生の73名を対象に視覚障害者の疑似体験を行う予定である。4年連続実施しており、今後も継続していきたいと思う。

(会長)

ぜひ取り組みを広げていただきたい。市民委員の皆さまから、ご意見はいかがか。

(高友クラブ連合会)

広範囲にわたり基本構想に則って進められていることに感心している。さらに進めていただきたい。

(社会福祉協議会)

「心のバリアフリー」について、大和郡山市が力を入れていることは素晴らしい。子どもたちへの継続的な啓発も大事だと思う。

個人的な意見だが、JR郡山駅の西側について、南側の踏切周辺の道路が狭く、交通量もあり、歩行時に非常に危険を感じる。今後、北側へ抜ける道ができてアクセスが良くなると、さらに交通量が増えるのではないかと思う。点字ブロック等の整備も含め、安全面を考慮して道路環境を良くしていただきたい。

(事務局)

JR郡山駅の西側踏切周辺について市道と県道が交差している。市道については管轄している管理課が順次、点字ブロック等の整備を進めているが、ご指摘の箇所についても今後の検討課題として共有する。踏切内は幅員が狭く、歩車分離の構造物はあるが交錯しやすい状況である。すぐの対応は難しいが、課題として認識している。

(自立支援協議会 しごと支援部会)

多くの当事者が市内の事業所へ電車、バス、自転車等で通所している。鉄道駅のホーム柵については、視覚障害の方はもちろん、発作等がある方にとっても非常にありがたい設備である。また、作業所内にこもりがちになる利用者が、バリアフリー化された道路や公園を利用して外出することで、ストレス発散や自立に向けたトレーニングにもなる。大和郡山市がそのような配慮をいただいていることに感謝する。

(自立支援協議会 こども支援部会)

以前、発達障害等の特性からくる通学の安全懸念をお伝えしたことがあった。今回、小中学校の通学路の課題を挙げていただき、バリアフリー化を図ろうとしていただいていることが伺えた。感謝申し上げます。後日、こども部会にて報告させていただく。

(自立支援協議会 居住支援部会)

今回の計画（個票）作成にあたっては、令和6年頃に肢体不自由者の方や親の会の方などに声をかけ、実際にJRや近鉄の駅前を見て回った際の意見を反映していただいたという理解でよろしいか。

(事務局)

そのとおりである。

(自立支援協議会 居住支援部会)

それであれば、細かく丁寧に対応いただいていると思う。もし、後から「これが漏れている」といった意見があった場合、今からでも反映は可能か。

(事務局)

2月中に予定しているパブリックコメント実施期間中であれば、内容によっては修正可能である。3月に策定完了となるため、それ以降の計画書への反映は難しい。

(自立支援協議会 居住支援部会)

急ぎ部会の皆さんと共有する。

また、各事業者がバリアフリー研修をしていただいているのはありがたい。肢体不自由や視覚障害だけでなく、内部障害、知的・精神障害の方への対応に関する研修はされてい

るか確認したい。

(奈良交通)

現状では、外見でわかりやすい車いす利用者への対応をメインに取り組んでいる。ベビーカー利用者の増加への対応なども検討しているが、知的・精神障害等への特化した研修はまだ十分ではない。

(近畿日本鉄道)

計画に記載のとおり、社員のスキル向上に向けた研修を行っている。また、各自治体で定期的に障害者の方にお集まりいただき、駅構内を歩いて意見をいただく機会を設けて整備を進めている。

(自立支援協議会 居住支援部会)

近鉄さんの取り組みはありがたい。外見からはわかりにくい障害への対応や、どう対応されるのが良いかなど、地域の協議会加盟団体も協力できることがあると思う。ぜひ研修などで連携させていただければと思う。

(自治連合会)

「城廻り線」について、いつ開通するのか、よく話題にあがる。昨年、用地買収がネックと聞いたが、今は工事が始まっている。はっきりと「いつ」と言えないのは、予算不足なのか工事の問題なのか。大雑把で良いので開通時期を聞かせていただきたい。

(郡山土木事務所)

本線の用地買収は完了し、現在は工事を進めている。また踏切より西側のアンダーパス工事も仮契約まで済んでいる。ただ、予算の状況や東側の沿道の方々との兼ね合いもあり、確実な時期を明言するのは難しいのが現状である。なるべく早く終わらせたいと思っている。

(会長)

建設事業は予算や関係者との協議など不確定要素が多く難しい面がある。住民の希望であるため早期完成を願っている。

それでは、確認事項1の特定事業計画案については、この内容でよろしいか。各団体で持ち帰り、ご意見があれば2月中に事務局へ連絡すること。

(異議なし)

(会長)

確認事項2の「今後の細部調整」については、私(会長)に一任いただくということではよろしいか。

(異議なし)

(会長)

最後に確認事項3、その他ご意見はあるか。

(会長)

大河ドラマの関係で観光客が増えているかと思うが、観光のバリアフリー対策の必要性など状況はいかがか。

(事務局)

看板の設置要望をいただいております、検討していきたいと考えています。

(会長)

事前の情報提供が重要である。視覚障害者や車いす利用者がどこまで行けるかなど、情報を発信するプラットフォームの検討をお願いします。

(副会長)

関係者の皆様が熱心に取り組まれ、様々な人が生活しやすい、訪れやすいまちになってきていると感じる。バリアフリー化は、大和郡山市の魅力である歴史と合わせてアピールできると考える。

ハード整備を100%とするのは費用・時間面で難しいため、ソフト面(心のバリアフリー)とセットで進めることが大切である。また、人が動くルートや回遊性に着目し、優先順位をつけて進めていくことが重要である。なお、ハードが整うと車の速度が上がる可能性もあるため、マネジメント手法も使いながら、安全で動きやすいまちを目指していただきたい。

(会長)

大和郡山市は県内でも早くから計画策定に取り組んでいただいている。ハード・ソフト両面での推進、さらに外見からはわかりにくい障害(知的・精神・発達障害等)や多様な方々への配慮も含め、今後も検討をよろしくをお願いします。

(事務局)

いただいたご意見を参考に今後の施策に取り組む。特定事業の進捗報告については、次回(来年7月頃予定)の協議会から再開する。また、現在進行中の近鉄郡山駅周辺整備のバリアフリー計画についても、次回の議題とする予定である。

なお、本日の会議録は、後日に市ホームページで公開する。

【追記】

協議会の中で回答保留となっていた事項について、回答は以下のとおりである。

(質問)

JR大和小泉駅と郡山駅に可動式ホーム柵(ホームドア)を設置いただけるとのことだが、本来は乗降客数10万人以上が設置目安という国の方針がある中で、比較的少ない乗客数でも設置いただける経緯などを教えてほしい。

(回答)

西日本旅客鉄道株式会社では2023年度から、京阪神地区内において通常いただく運賃に加え、鉄道駅バリアフリー料金として加算料金を徴収させていただいている。この加算料金で得た資金を原資として、徴収対象範囲内の全駅に対し、可動式ホーム柵ないしホーム安全スクリーンのいずれかを整備する方針を公表している。

大和路線ではJR難波～奈良間で料金を徴収している為、大和郡山市内の大和小泉駅・郡山駅をご利用されるお客様からも加算料金をいただいていることとなり、還元の意味合いも込めてこのような対応とさせていただいている。

具体的な整備内容・整備時期については、計画が固まり次第順次公表させていただいているので、西日本旅客鉄道株式会社HP等をご確認いただきたい。

【西日本旅客鉄道株式会社HP：バリアフリー料金について】

鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備：JR西日本

以上